

父は女性も手に職をと思い、女の子はプロゴルファーか棋士にしたかったそうです。小学4年で弟子入り、小学5年で女流プロ棋士になるための女流育成会に入会・修行、中学2年でプロデビュー。

◆高まる子どもの将棋熱◆

子どもの将棋大会に3000人余も参加が。

なぜ今、人気なのか。

・脳科学者の茂木健一郎先生のお話

「ネットの普及で情報過多の現代において、沈黙考する時間が大切。だから、一手に時間をかけるような将棋というものが人気なのではないか。ひとつのことに集中、深く潜り込んで考えるのが魅力。」

例えば、対局では正座していても集中しているのでしびれなかったりするのです。

◆普及活動の一環◆

東京大学の学生に将棋を教える授業をしています。初心者に、将棋の歴史から指し方まで。教育現場に将棋を取り入れると学べるものは

- ・作法
- ・気持ちのコントロールのしかた



◆対局について◆

1日目 検分（リハーサル）環境づくり…空調、音、明るさのチェック。昼食やおやつ。

2日目 和服を着て対局＝緊張感



将棋から学んだ“考え方”

① 決断力 強気な前向きな決断 開き直る力

- ・必要以上に慎重にならず、踏み込めるところは踏み込む
- ・怖い時ほど一歩前へ



女流名人戦の決勝戦
（優勝候補だった時の
ご自分の体験から）

中学生だった里見香奈さんとの対戦でのプレッシャー

- ・一局完敗…負けるのが怖い・攻めるのが怖い
- 将棋＝自分の気持ちの弱さにショックを受けた勝負後、テレビで彼女が「勝負には負けない」という気持ちは自分が一番強く持っています」と言い切った
- それを観て、「絶対に負けない」「勝つんだ」という強い気持ちを持た
- ・緊張感のなか「後ろには下がらない」「前に出

る」という気持ちで二局に勝利
三局も「前に出る、絶対負けない」と勝利し、優勝

自分が「負けない」と強気の決断ができたことが大きな収穫だった

・年とともに知らず知らずのうちに行動にブレーキをかけているのでは

➔意識的にアクセルを踏みこんで挑戦していく

・人には（気持ちの上での）限界はないのではないか

自分で線引き ➔自分の可能性を切ってしまうことに。常にチャレンジャー精神で！

② 忍耐力

将棋は逆転の多いゲーム、ミスしたら負けるゲーム

一つミスすると、焦り・動揺 ➔より大きなミスにつながる ➔自分の気持ちをコントロール

※忍耐のためにすること

一呼吸おく ➔新たな気持ちで目の前のことに集中して向き合う＝客観視できる「前後裁断」

自分の気持ちに耐える

女流名人戦の挑戦者になった時のテーマ

なぜ勝てないか…「早く勝ちたい」という焦りで冷静な判断ができない

➔何百手かかってもかまわない、夜中までかかってもかまわない ➔長手数の勝負に

「着実に確実な一歩を積み重ねていこう」

…自分自身が成長 ➔名人に

プレッシャーに耐える覚悟が成功への近道
結果を早く求めすぎない（慌てすぎない）

③ 失敗に対応する力

将棋ならではの「感想戦」

…勝負が終わってから、対戦相手と、すぐに一手から振り返り、どこがよかったか悪かったかを検討

➔そのあと、自分一人で感想戦…冷静な頭で研究し、研究会（練習試合）でぶつける

- ・同じミスをしなくなる
- ・直観力

自分なりの反省点を振り返る

今日一日を振り返る ➔自分自身の成長に



三手先を読む

枝分かれの変化